

葛飾区立飯塚学校



5年生の総合的な学習の時間で車いす体験をしました。

車いす利用者としての視点で、真っすぐ進むときのスピード感や段差を乗り越える際の感覚を体験しました。「思ったより怖い。」「段差があると操作が難しい。」と気付くことができました。

車いすの介助を行う中で、段差を乗り越えるために車いすを浮かせたり、カーブを曲がる時の動きを考えたりと、車いすのコントロールの難しさを実感しました。

普段何気なく見過ごしているようなことでも、車いすを利用する人には不便を感じることに気付き、ユニバーサルデザインについて改めて考えることができました。